

第4次小城市行政改革プランの各取り組み

[各プランの実施状況の見方]

- 取り組み項目・実施スケジュール …… 目標：取り組む予定の項目を黄で塗りつぶし
 実績：取り組んだ項目(目標値の入力のない項目も含む)を赤で塗りつぶし
 ※年度の四半期ごとに枠を設定し、特に時期を特定して実施した場合は該当時期のみ塗りつぶし
- 進捗度 …………… 完了を「A」、進行中を「B」、未着手を「C」(※空欄…取組目標時期未到来)
- 事業費・事務従事時間の実績 …… 改革プランに要した事業費及び事務従事時間
- 改革による効果 …………… 改革プランに取り組んだ結果得られた効果[金額的效果、時間的效果(人件費2,500円/hで算出)]

1 人材育成の推進

プラン名	1	人事管理の適正化 (人員配置の総合管理)	主管課	総務課	関係課	全課				
実施内容	人事評価の有効活用、計画的な人員の配置・調整		見込まれる効果	組織目標の実現に向けて個人の役割と必要人員を明確にすることで、最小の経費で最大の効果を上げるための組織体制を確保することができる。						
取り組み内容 (実績)	平成30年度	<ul style="list-style-type: none"> 全職員を対象に人事評価を実施し、ブレイクダウン方式による個人目標の設定を行い、管理職との面接を通じた実績管理を行った。 監督職以上を対象とした、会計年度任用職員制度に関する制度説明会を実施した。また、平成31年度当初予算をベースとした非正規職員の雇用予定の洗い出しと令和2年度の採用見込み調査を実施し、人員の見込み数の把握と人件費の試算を行った。 								
	令和元年度	<ul style="list-style-type: none"> 人事評価では、管理職との面接を通じた目標設定・実績管理を行い、また、評価者研修では評価の技術的な部分を強化し制度の定着を図った。 会計年度任用職員について、給与や休暇等に関する条例・規則を整備した。また、事務処理マニュアルを作成し、統一的な事務処理の調整を図った。採用見込み調査と職の整理を実施し、次年度当初予算編成に取り組んだ。 								
	令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> 昨年度まで委託していた「人事評価職員研修」を自主運営に切り替え、新採職員及び新任評価者への説明会・研修会を実施した。また、会計年度任用職員の人事評価を開始するにあたり、マニュアルの作成、1次評価者となる副課長・係長級職員への説明会・研修会を行い、評価を実施した。 新型コロナウイルス感染症に対応した組織の編成及び会計年度任用職員の給与支給の体制づくり(システム導入、マニュアル整備)に取り組んだ。 								
	令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> 「人事評価に関する規程」を策定し(R4.4.1施行)。人事評価の定義、評価の方法や評価者の責務、人事評価審査委員会の設置等について明確に定め、職員への周知を行った。人事評価については、毎年度の研修や実践する中で定着化が図られている。また、評価結果を昇格や人事異動に反映させ有効活用させている。 定員管理計画の策定に着手したが、定年延長や働き方改革等社会情勢が変化し、これらを見据えた人事計画(管理)が困難となっている。計画策定に向け、国や県からの情報収集や他市の状況把握を行った。 								
	令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> 人事評価制度について、処遇反映の運用が可能となるよう、「人事評価マニュアル」を見直し、内容及び様式等の改正を行い、職員への周知を行った。 定年引上げに関する条例及び規則の整備を行い、定年引上げが完了する令和13年度までに60歳を迎える職員を対象に、制度の概要について説明会を行った。また、参加した職員に対し、アンケートを実施し、今後の働き方について職員の意識や動向を把握した。 上記アンケート結果や今後の退職者数の見込み、現在の小城市職員の年齢構成等を考慮した採用計画等を盛り込んだ、「定員管理計画」を策定した。 職員の給与と定年に準じて、会計年度任用職員の給与についても規則改正を行った。 								
取り組み項目・実施スケジュール			年度							
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	進捗度		
ア. 組織目標を基礎とした個人目標・役割の設定及びその評価			目標						A	
			実績					完		
イ. 中長期的な人事計画の確立			目標						A	
			実績					完		
ウ. 臨時・非常勤職員の地方公務員法の趣旨に沿った任用制度の整備			目標						A	
			実績					完		
事業費・事務従事時間の実績			H28年度 (実績)	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	H31年度 (実績)	R2年度 (実績)	R3年度	R4年度	累計 (H30～R4)
①全体事業費(千円)	歳入	実績額	0	0	0	0	0	0	0	0
	歳出	実績額	1,565	1,015	962	4,112	938	885	637	7,534
②職員事務従事時間		実績時間	600	600	620	853	776	613	655	3,517
改革による効果	金額的効果 (実績)	計			0	0	0	0	0	0
		時間								
	時間的効果 (実績)	時間			0	0	0	0	0	0
		金額換算			0	0	0	0	0	0

第4次小城市行政改革プランの各取り組み

[各プランの実施状況の見方]

- 取り組み項目・実施スケジュール …… 目標：取り組む予定の項目を黄で塗りつぶし
 実績：取り組んだ項目(目標値の入力のない項目も含む)を赤で塗りつぶし
 ※年度の四半期ごとに枠を設定し、特に時期を特定して実施した場合は該当時期のみ塗りつぶし
- 進捗度 …………… 完了を「A」、進行中を「B」、未着手を「C」(※空欄…取組目標時期未到来)
- 事業費・事務従事時間の実績 …… 改革プランに要した事業費及び事務従事時間
- 改革による効果 …………… 改革プランに取り組んだ結果得られた効果[金額的效果、時間的效果(人件費2,500円/hで算出)]

1 人材育成の推進(続き)

プラン名	2	職員の資質向上、専門的な技術の習得	主管課	総務課	関係課	全課					
実施内容	小城市人材育成基本方針に基づき職員の育成、研修所研修やOJTを有効活用、階層別、分野別、専門研修、職員の意識改革や能力の強化		見込まれる効果	判断・対応能力が向上し、能率的かつ質の高いサービスが提供できる。							
取り組み内容 (実績)	平成30年度	・自ら学び考える職員の育成のため、新たな取組として自由参加型の自主研修を開催した。(10回開催、延べ235人の参加) ・平成30年度小城市職員研修実施計画を作成し、研修の体系を明確にし、職員へ概要等の周知を徹底したうえで指名・応募による研修参加を実施した。									
	令和元年度	・令和元年度も小城市職員研修実施計画を作成し、指名・応募による研修参加の取り組みを実施したが、大規模な豪雨災害の影響により突発的な業務が発生したことで研修の機会が失われ、研修参加者が激減した。特に、自主研修は2回の開催で延べ60人程度の参加にとどまった。 ・法的素養の向上を目的として、合併後初めて佐賀県法務私学課に1年間職員を派遣した。									
	令和2年度	・新型コロナウイルス感染症の影響により県内外での研修機会が減少したが、WEB研修を取り入れ庁舎内において研修が受講できるようになった。同じく、自主研修も実施を見合わせたため、開催は2回で延べ45人程度の参加にとどまった。 ・総合計画後期基本計画の策定にあわせ、人事評価マニュアルと連動した人材育成基本方針の素案づくりに着手した。									
	令和3年度	・電子機器環境の整備により、WEB研修を受講できる機会が増加した。また、庁内の研修や説明会等の実施方法を見直すことで、タブレットを活用した自席での受講が可能となる等、気軽に参加できる多様な職場研修の推進につながった。 ・人材育成基本方針の素案づくりに向けて研修に関する職員アンケートを実施し、職員の意向等について把握を行った。また、その中で職員からの希望が多くこれまで実施していなかった内容の研修については、令和4年度の新規研修として実施できるよう企画したほか、中継センターからの要望により、接遇研修を追加で企画・実施した。									
	令和4年度	・新規採用職員の庁内研修の回数を増やし、総合計画、防災、財政、人事等の各分野において研修を実施した。また、佐賀新聞社が提供する研修、「新聞活用セミナー」や佐賀大学が提供する研修への参加を呼びかけ、多様な研修の機会を提供した。 ・「小城市人材育成方針」について、社会情勢の変化や組織内部の変化に応じた、また新しい人事評価マニュアルと連動した人材育成基本方針を策定した。 ・中長期的な研修として、採用後3年までを対象にした「政策立案研修」の企画を行い、令和5年度の実施に向けて、関係課との協議を行った。また、外部講師の派遣について、佐賀県市町村振興協会と協議を行い、派遣が可能となった。									
実施スケジュール			年度								
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	進捗度			
ア. 多様な職場研修の推進			目標								
			実績					完 A			
イ. 能力開発のための体系的・計画的な研修プログラムの確立			目標								
			実績					完 A			
ウ. 佐賀県市町等実務研修への職員派遣			目標								
			実績					完 A			
事業費・事務従事時間の実績			H28年度 (実績)	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	H31年度 (実績)	R2年度 (実績)	R3年度	R4年度	累計 (H30~R4)	
①全体事業費(千円)	歳入	実績額	26	19	35	20	0	0	6	61	
	歳出	実績額	1,377	1,488	1,333	885	120	272	67	2,677	
②職員事務従事時間		実績時間	80	80	117	117	245	297	235	1,011	
改革による効果	金額的效果 (実績)									0	
		計			0	0	0	0	0	0	
	時間的效果 (実績)										0
		計									0

第4次小城市行政改革プランの各取り組み

[各プランの実施状況の見方]

- 取り組み項目・実施スケジュール …… 目標：取り組む予定の項目を黄で塗りつぶし
実績：取り組んだ項目(目標値の入力のない項目も含む)を赤で塗りつぶし
※年度の四半期ごとに枠を設定し、特に時期を特定して実施した場合は該当時期のみ塗りつぶし
- 進捗度 …… 完了を「A」、進行中を「B」、未着手を「C」(※空欄…取組目標時期未到来)
- 事業費・事務従事時間の実績 …… 改革プランに要した事業費及び事務従事時間
- 改革による効果 …… 改革プランに取り組んだ結果得られた効果[金額的效果、時間的效果(人件費2,500円/hで算出)]

1 人材育成の推進(続き)

プラン名	3	勤務環境の整備	主管課	総務課	関係課	全課				
実施内容	会議時間短縮、恒常的時間外勤務の抑制、休暇の一層の取得促進		見込まれる効果		長時間労働を抑制し、職員が心身ともに健康で持てる能力を最大限発揮することができる。					
取り組み内容(実績)	平成30年度	<ul style="list-style-type: none"> 労働基準法の改正を踏まえ、職員勤務時間、休暇等に関する条例及び規則の一部を改正し、次年度以降の時間外勤務の制限に関する整備を行った。 事務引継書と留意点を職員へ周知し、内容を上司へ報告すること、公文書として保存することを徹底した。 								
	令和元年度	<ul style="list-style-type: none"> 時間外勤務や休暇管理を行うことができる庶務事務システムの導入について、検討を行った。 職員Webシステムのチャット機能を利用して、人事管理の質問に対する回答を常時表示し情報を蓄積していくといった、簡易的なマニュアルづくりを試みた。 事務引継書は、前年と引き続いて、内容を充実させること及び公文書としての重要性を意識するよう周知を行った。 								
	令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> 時間外勤務や休暇管理を行うことができる庶務事務システムの導入をはじめ、RPA等も含めた業務改善について検討した。 会議のルール化について、タブレット等のOA機器の整備に合わせて、マニュアルの素案づくりに着手した。 職員の柔軟な勤務体制の確保及び子育てや介護と仕事の両立を支援しワークライフバランスの推進を図るため、在宅型テレワークの導入に着手した。 								
	令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> 長時間労働の抑制及び事務執行の簡素効率化を図るため、「会議運営マニュアル」を策定し職員へ周知したほか、総務部長通知にて、時間外勤務の縮減に係る取り組みについて依頼した。ノー残業デー徹底のため、毎週水曜の18時パソコンシャットダウンを継続して実施し、職員の意識向上に努めた。また、働き方改革の一環としてテレワーク環境を整備し、職員が働きやすい環境づくりを進めた。 「小城市職員事務応援制度実施規程」を策定し、繁忙期における部課等の職員の臨時的な業務援助体制が可能となった。 								
	令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> 長時間労働を是正し、年休の取得率を向上させるなど、職員のワーク・ライフ・バランスを実現することで、職員が働きやすい職場環境をつくり、質の高い市民サービスの提供につなげることを取組方針とした。「小城市働き方改革取組方針」を策定し、職員へ周知するとともに、様々な手法を用いた業務改善を行いながら取組みを推進した。 「会議改革研修」の実施により、職員の意識改革につながったほか、企画政策課主導で、AI・OCR・RPA等DXの導入が促進されたことにより業務効率化が図られ、年間約1,275時間の業務時間の縮減が実現できた。 庶務事務システムを導入し、これまで紙管理及び承認の押印が必要だった事務処理に関して、電算処理が可能となった。 								
実施スケジュール			年度							
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	進捗度		
ア. 時間外勤務の事前承認の徹底	目標							A		
	実績	[赤塗り]						完		
イ. 会議のルール化	目標							A		
	実績	[赤塗り]						完		
ウ. 事務手続きのマニュアル化及び引継ぎ方法のルール化	目標							A		
	実績	[赤塗り]						完		
エ. 事務応援制度の検討	目標							A		
	実績	[赤塗り]						完		
事業費・事務従事時間の実績		H28年度(実績)	H29年度(実績)	H30年度(実績)	H31年度(実績)	R2年度(実績)	R3年度	R4年度	累計(H30~R4)	
①全体事業費(千円)	歳入	実績額	0	0	0	0	0	0	0	
	歳出	実績額	0	0	0	0	0	0	0	
②職員事務従事時間		実績時間	0	0	156	141	155	150	190	792
改革による効果	金額的效果(実績)	計	0						0	
		時間外勤務抑制による減(※時間外手当は2,500円/hで算出)	時間	▲ 2,786	▲ 14,478	7,251	▲ 787	9,026	▲ 1,774	
	時間的效果(実績)	計	金額換算	▲ 6,965	▲ 36,195	18,128	▲ 1,968	22,565	▲ 4,435	
		時間	▲ 2,786	▲ 14,478	7,251	▲ 787	9,026	▲ 1,774		
		金額換算	▲ 6,965	▲ 36,195	18,128	▲ 1,968	22,565	▲ 4,435		
合計効果額			▲ 6,965	▲ 36,195	18,128	▲ 1,968	22,565	▲ 4,435		

第4次小城市行政改革プランの各取り組み

[各プランの実施状況の見方]

- 取り組み項目・実施スケジュール …… 目標：取り組む予定の項目を黄で塗りつぶし
 実績：取り組んだ項目(目標値の入力のない項目も含む)を赤で塗りつぶし
 ※年度の四半期ごとに枠を設定し、特に時期を特定して実施した場合は該当時期のみ塗りつぶし
- 進捗度 …………… 完了を「A」、進行中を「B」、未着手を「C」(※空欄…取組目標時期未到来)
- 事業費・事務従事時間の実績 …… 改革プランに要した事業費及び事務従事時間
- 改革による効果 …………… 改革プランに取り組んだ結果得られた効果[金額的效果、時間的效果(人件費2,500円/hで算出)]

2 行政改革の推進

プラン名	4	行政評価システムの活用	主管課	企画政策課	関係課	総務課、財政課				
実施内容	行政運営のマネジメントサイクル(計画-実施-評価-改善)を定着させる。毎年度、事業の優先度、貢献度の評価を行うことで、課題を洗い出し改善につなげる。		見込まれる効果	職員の目的意識、コスト意識等の意識改革を図ることで、より効果的な予算編成と政策決定の最適化につながる。						
取り組み内容 (実績)	平成30年度	各課に総合計画実施計画のローリング(聞取り)を実施した。係長以下の職員を対象に事務事業マネジメントシート研修を実施し、シート作成の精度向上を図った。政策決定が必要な事業について、事前評価の進め方を見直した。								
	令和元年度	各課に総合計画実施計画のローリング(聞取り)を実施した。全職員を対象に事務事業マネジメントシート研修を実施し、シート作成の精度向上を図った。各事務事業の前年度の取組について担当課で1次評価を実施していたが、さらに事務事業が属する施策の課長レベルで2次評価の一部を実施し、その内容を担当者にフィードバックすることで、改善内容の共有を行い、マネジメントサイクルの見直しを行った。								
	令和2年度	各課に総合計画実施計画のローリング(聞取り)を実施した。行政評価の基となる総合計画の第2次小城市総合計画後期基本計画策定作業(策定研修・策定会議・市民アンケート実施)を行い、施策体系や成果指標の見直し、現状と課題の整理等に取り組んだ。また、総合計画後期計画策定に取り組むにあたり、行政評価のあり方を見直し、事務の効率化を図った。								
	令和3年度	行政評価システムを活用し、現状と課題の整理、施策体系や基本事業、成果指標の見直しを行い、第2次小城市総合計画後期基本計画を策定した。職員向けには事務事業マネジメントシート研修を行い、行政評価について理解を深めた。また、事務事業マネジメントシートの様式の簡素化を行い、事務の効率化を図った。								
	令和4年度	実施計画のヒアリングを実施し、事業の対象と意図、成果指標の設定、目標達成に向けた今後の事業展開等について確認を行った。事務事業マネジメントシートについては、引き続き職員研修を行い、行政評価について理解を深めるとともにマネジメントシートの様式見直しと作成スケジュールの変更を行い、事務の効率化を図った。また、RPAの活用により、事務事業マネジメントシート作成に係る全体事務時間の削減ができた。評価結果の公表については、第2次小城市総合計画前期基本計画の評価結果を公表した。								
実施スケジュール			年度							
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	進捗度		
ア. 職員研修・評価体制の強化	目標							A		
	実績									
イ. 年間のマネジメントサイクルの見直し	目標							A		
	実績									
ウ. 政策決定までのプロセス検討	目標							A		
	実績									
エ. 評価結果の公表	目標							A		
	実績									
事業費・事務従事時間の実績		H28年度 (実績)	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	H31年度 (実績)	R2年度 (実績)	R3年度	R4年度	累計 (H30~R4)	
①全体事業費(千円)	歳入	実績額	0	0	0	0	0	0	0	
	歳出	実績額	1,060	1,176	967	995	2,884	1,863	387	7,096
②職員事務従事時間		実績時間	1,183	1,418	1,650	1,675	1,785	1,718	1,072	7,900
改革による効果	金額的效果 (実績)	計		0	0	0	0	0	0	
		時間								
	時間的效果 (実績)	計		0	0	0	0	0	0	
		金額換算								

第4次小城市行政改革プランの各取り組み

[各プランの実施状況の見方]

- 取り組み項目・実施スケジュール …… 目標：取り組む予定の項目を黄で塗りつぶし
 実績：取り組んだ項目(目標値の入力のない項目も含む)を赤で塗りつぶし
 ※年度の四半期ごとに枠を設定し、特に時期を特定して実施した場合は該当時期のみ塗りつぶし
- 進捗度 …………… 完了を「A」、進行中を「B」、未着手を「C」(※空欄…取組目標時期未到来)
- 事業費・事務従事時間の実績 …… 改革プランに要した事業費及び事務従事時間
- 改革による効果 …………… 改革プランに取り組んだ結果得られた効果[金額的效果、時間的效果(人件費2,500円/hで算出)]

2 行政改革の推進(続き)

プラン名	5	民間活力の導入	主管課	企画政策課	関係課	全課				
実施内容	市所有施設管理運営等、行政サービスへの多様な民間活力の活用を検討する。また、実施方法等については継続的に見直しを行う。		見込まれる効果	多様化、高度化する市民ニーズに適切に対応できる。効率的・効果的な行政サービスの提供を図ることができる。民間事業者等における新たな事業機会の創出や投資の喚起を図ることができる。						
取り組み内容(実績)	平成30年度	PPP・PFI導入の検討・実施について職員研修を実施し、導入が見込まれる施設等の担当課には個別相談会を実施した。また、国土交通省主催の地域プラットフォームサウンディングに参加した。								
	令和元年度	国土交通省PPPサポーター制度の派遣サポートを活用し、先進地自治体の職員によるPPP・PFI職員研修を実施した。新たに民間活力導入を検討している部署については、庁外セミナーや国土交通省主催の地域プラットフォームサウンディングにもともに参加し、民間事業者との意見交換の場を設けた。								
	令和2年度	コロナ禍でPPPIに関する庁外セミナーは、オンラインでの開催が多くなり、参加者の増加につながった。国土交通省主催の地域プラットフォームサウンディングもオンラインで参加し、新規事業について民間事業者からの様々な意見・アドバイスを受けることができた。新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により、市独自の研修は実施しなかった。								
	令和3年度	コロナ禍でPPPIに関する庁外セミナーは、ほぼオンラインでの開催となり、参加者の増加につながった。国土交通省主催のサウンディングに参加し、具体的な案件について民間事業者の意見を聞くことができた。また、内閣府のPPP/PFI行政実務専門家派遣制度を活用し、PPP/PFI専門家から民間事業者側の視点も含めアドバイスを受けた。								
	令和4年度	民間活力(PPP・PFI等)導入庁内検討会議を設置し、民間活力活用の事例や課題の整理を行った。また、庁内検討会議において、福岡県行橋市への現地視察研修(10名参加)と内閣府のPPP/PFI行政実務専門家派遣制度を活用した研修(14名参加)を実施した。さらに、官民連携による課題解決の取り組みを進めるため、自治体コネクトの利用を開始し、市が抱える課題を民間企業と共有し、課題解決に向けた提案受付等、民間企業とのマッチングができる体制を整えた。民間活力導入の事例として、民間事業者の有するノウハウを活用したDBO方式(設計建設運営一括発注方式)により、給食センターの改築(R5.9月供用開始予定)を行っている。								
実施スケジュール			年度							
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	進捗度		
ア. 民間活力導入が見込まれる施設やサービスの現状把握と関係課ヒアリング			目標						A	
			実績					完		
イ. 民間活力導入の可能性の検討			目標						A	
			実績					完		
ウ. 民間活力導入の実施			目標						A	
			実績					完		
事業費・事務従事時間の実績			H28年度(実績)	H29年度(実績)	H30年度(実績)	H31年度(実績)	R2年度(実績)	R3年度	R4年度	累計(H30~R4)
①全体事業費(千円)	歳入	実績額	0	0	0	0	0	0	0	0
	歳出	実績額	0	0	146	15	0	0	14	175
②職員事務従事時間		実績時間	0	0	70	75	47	76	80	348
改革による効果	金額的效果(実績)	計			0	0	0	0	0	0
		時間			0	0	0	0	0	0
	時間的效果(実績)	時間			0	0	0	0	0	0
		金額換算			0	0	0	0	0	0
	合計効果額				0	0	0	0	0	0

第4次小城市行政改革プランの各取り組み

[各プランの実施状況の見方]

- 取り組み項目・実施スケジュール …… 目標：取り組む予定の項目を黄で塗りつぶし
 実績：取り組んだ項目(目標値の入力のない項目も含む)を赤で塗りつぶし
 ※年度の四半期ごとに枠を設定し、特に時期を特定して実施した場合は該当時期のみ塗りつぶし
- 進捗度 …… 完了を「A」、進行中を「B」、未着手を「C」(※空欄…取組目標時期未到来)
- 事業費・事務従事時間の実績 …… 改革プランに要した事業費及び事務従事時間
- 改革による効果 …… 改革プランに取り組んだ結果得られた効果[金額的效果、時間的效果(人件費2,500円/hで算出)]

2 行政改革の推進(続き)

プラン名	6	協働によるまちづくりの推進	主管課	企画政策課	関係課	関係各課				
実施内容	コミュニティや住民自治に関する情報提供 自主的・主体的な地域活動への参加促進		見込まれる効果	コミュニティや住民自治に関する情報を広く市民や団体に提供し、市民のコミュニティ意識を高め、自主的・主体的な地域活動への参加を促すことで、地域の課題解決や、地域の魅力を活用した地域活性化が進み、住民自治に基づく個性豊かな地域づくり・まちづくりにつながる。						
取り組み内容 (実績)	平成30年度	平成28年度末より三里地区において地域のまちづくりモデル事業を実施していたが、平成30年6月に三里まちづくり協議会が設立されたことにより地域のまちづくり事業として補助金を交付し支援を行った。また、平成30年10月に、協働によるまちづくり検討委員会から小城市における協働によるまちづくりの提言を受け、住民主体のまちづくりを推進していくこととした。								
	令和元年度	三里まちづくり協議会への補助金の交付、運営委員会へアドバイザーとして参加し、支援を行った。市民を対象にした地域づくり・まちづくりの勉強会を3月に予定していたが、新型コロナウイルス感染症の感染予防のため中止した。区長会へ啓発のために説明に出向いたが、市民が主体となったまちづくり活動へつなげていくことができなかった。								
	令和2年度	三里まちづくり協議会への補助金の交付、運営委員会にオブザーバーとして参加し、支援を行った。市民や地域、各種団体を対象とした地域づくり・まちづくりの勉強会は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため開催できなかった。1月28日開催の協働職員研修会において、まち協(地域運営組織)についても講義を受けて理解を深めた。								
	令和3年度	三里まちづくり協議会への補助金の交付、運営委員会にオブザーバーとして支援を行い、交流イベントが開催された。新型コロナウイルス感染症の影響を受け、各種団体を対象とした地域づくり・まちづくりの勉強会やワークショップは開催できなかった。芦刈地区が過疎地域に指定され、過疎計画策定に向け懇談会を開催し、今後の協働によるまちづくりに向けた機運づくりを行った。担当職員によるまちづくり協議会の先進地視察を行い、今後の協働によるまちづくりの推進について情報収集を行った。								
	令和4年度	三里まちづくり協議会への補助金の交付、運営委員会にオブザーバーとして支援を行った。新型コロナウイルス感染症の影響を受け、前半の活動は制限を余儀なくされたが、3年ぶりに「牛尾梅まつり」や初めての「合同防災訓練」などが行われた。芦刈地区が過疎地域に指定され、小城市過疎地域持続的発展計画が策定(R3.9)された。芦刈町における住民主体のまちづくり「地域のまちづくり事業」の取り組みを進めていくため、R4.11月に芦刈町に関する職員に説明会を開催。R4.12月とR5.2月に「芦刈まちづくり勉強会」をワークショップ形式で開催。20名～40名の参加者と芦刈町についての情報共有、今後どうしたいのかの意見を言ってもらい、まちづくりの推進に向けて洗い出しを行った。								
実施スケジュール			年度							
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	進捗度		
ア. 「協働によるまちづくり検討委員会」での検討			目標						A	
			実績	完						
イ. 地域づくり・まちづくりに関する勉強会・ワークショップの開催			目標						A	
			実績					完		
ウ. 地域のまちづくりモデル事業の実施			目標						B	
			実績							
エ. 地域のまちづくり事業の実施			目標						A	
			実績					完		
事業費・事務従事時間の実績			H28年度 (実績)	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	H31年度 (実績)	R2年度 (実績)	R3年度	R4年度	累計 (H30～R4)
①全体事業費(千円)	歳入	実績額	0	0	0	0	0	0	0	0
	歳出	実績額	595	2,066	891	354	337	348	428	2,358
②職員事務従事時間		実績時間	600	1,200	1,950	1,450	850	850	1,870	6,970
改革による効果	金額的效果 (実績)	計		0	0	0	0	0	0	0
	時間的效果 (実績)	時間								
		金額換算								
計		時間		0	0	0	0	0	0	
		金額換算		0	0	0	0	0	0	

第4次小城市行政改革プランの各取り組み

[各プランの実施状況の見方]

- 取り組み項目・実施スケジュール …… 目標：取り組む予定の項目を黄で塗りつぶし
 実績：取り組んだ項目(目標値の入力のない項目も含む)を赤で塗りつぶし
 ※年度の四半期ごとに枠を設定し、特に時期を特定して実施した場合は該当時期のみ塗りつぶし
- 進捗度 …………… 完了を「A」、進行中を「B」、未着手を「C」(※空欄…取組目標時期未到来)
- 事業費・事務従事時間の実績 …… 改革プランに要した事業費及び事務従事時間
- 改革による効果 …………… 改革プランに取り組んだ結果得られた効果[金額的效果、時間的效果(人件費2,500円/hで算出)]

2 行政改革の推進(続き)

プラン名	7	選挙事務の見直し	主管課	選挙管理委員会事務局	関係課					
実施内容	期日前投票所数の検討		見込まれる効果	期日前投票所の効果的運用によって、業務の削減や人件費の削減ができる。						
取り組み内容(実績)	平成30年度	期日前投票所の縮減について、選挙管理委員会で委員に説明し、協議した。4箇所中1箇所を減らすことは難しいとの意見があった。								
	令和元年度	期日前投票所の縮減について、他市の状況を選挙管理委員会で委員に説明し、本庁以外の期日前投票所の設置期間を短期間に調整することについて了承された。								
	令和2年度	令和2年度に執行した市長選挙は、コロナ禍の影響により分散投票の観点から期日前投票を推奨することとした。そのため、期日前投票の設置期間短縮は見送った。なお、宣誓書を入場券の裏面に印刷することで受付時間の短縮を図った。								
	令和3年度	令和3年度に執行した衆議院議員選挙、市議会議員選挙においても、コロナ禍の影響により引き続き分散投票の観点から期日前投票を推奨することとなった。期日前投票所の設置期間短縮は、期日前投票期間が8日以上の場合で、4箇所のうち3箇所の開始日を1日短縮することで決定しており、期日前投票所数の検討については完了とする。								
	令和4年度									
実施スケジュール		年度								
		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	進捗度			
ア. 計画の策定、委員会協議	目標									
	実績						完	A		
イ. 計画の実施(意見調整)	目標									
	実績						完	A		
ウ. 計画の実施(再度検討策定、委員会決定、公報)	目標									
	実績						完	A		
エ. 計画の実施(H33.3市長選挙任期満了選挙より)	目標									
	実績						完	A		
事業費・事務従事時間の実績		H28年度(実績)	H29年度(実績)	H30年度(実績)	H31年度(実績)	R2年度(実績)	R3年度	R4年度	累計(H30~R4)	
①全体事業費(千円)	歳入	実績額							0	
	歳出	実績額							0	
②職員事務従事時間		実績時間		1	2	22	37	0	62	
改革による効果	金額的效果(実績)			0						
		計		0	0	0	0	0	0	
	時間的效果(実績)	期日前投票所を減らすことによる減		時間						0
				金額換算						0
		計		時間						0
			金額換算						0	
合計効果額				0	0	0	0	0	0	

第4次小城市行政改革プランの各取り組み

[各プランの実施状況の見方]

- 取り組み項目・実施スケジュール …… 目標：取り組む予定の項目を黄で塗りつぶし
 実績：取り組んだ項目(目標値の入力のない項目も含む)を赤で塗りつぶし
 ※年度の四半期ごとに枠を設定し、特に時期を特定して実施した場合は該当時期のみ塗りつぶし
- 進捗度 …………… 完了を「A」、進行中を「B」、未着手を「C」(※空欄…取組目標時期未到来)
- 事業費・事務従事時間の実績 …… 改革プランに要した事業費及び事務従事時間
- 改革による効果 …………… 改革プランに取り組んだ結果得られた効果[金額的效果、時間的效果(人件費2,500円/hで算出)]

2 行政改革の推進(続き)

プラン名	8	新たな改革提案と改革推進の強化	主管課	企画政策課	関係課	全課				
実施内容	新たな改革を受け付け、反映する仕組みをつくる。また、改革提案の進捗管理を行い、各課横断的な検討ができるようコーディネートを行う。		見込まれる効果	歳入増・歳出減・事務従事時間削減・市民サービスの向上						
取り組み内容 (実績)	平成30年度	これまでの職員提案制度の取り組みについて調査し、その取り組み方法や問題点などを分析した。また、今後の取り組み方法を検討した。								
	令和元年度	前年度の検討を踏まえ、庁内でスケジュールや方法などの決定を行い、令和元年10月に提案募集を行った。結果7件の提案があり、審査の結果、最優秀賞なし、優秀賞1件、努力賞1件となった。関係課から提案の実現に向けた対処方針の報告を受けるとともに、事務局からは今後実施に向けた検討を依頼した。								
	令和2年度	令和2年10月に提案募集を行い、5件の提案があった。審査の結果、最優秀賞・優秀賞はなし、努力賞2件となった。提案内容については関係課にその実施について働きかけを行った。昨年度の提案についても、関係課にその進捗状況を確認し、一部の提案について、関係課での協議が行われた。								
	令和3年度	令和3年10月に提案募集を行い、2件の提案があった。審査の結果、最優秀賞・優秀賞はなし、努力賞1件となった。提案内容については関係課にその実施について働きかけを行った。過年度の提案についても、関係課にその進捗状況を確認し、一部の提案については、関係課での協議が行われ、改革提案の実現に向けた取り組みが行われている。								
	令和4年度	令和4年10月に提案募集を行い、3件の提案があった。審査の結果、優秀賞1件、努力賞1件となった。提案内容については関係課にその実施について働きかけを行い、優秀提案の「ユニバーサルデザインの種さがし」については、県庁職員を講師に県のユニバーサルデザイン等に関する取組や考え方を紹介する「さがすたいる」職員研修が実施された。また、職員提案内容については、希望する職員に対し、職員提案発表会を開催し、周知を行った。								
実施スケジュール			年度							
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	進捗度		
ア. 改革提案制度の仕組みの検討			目標						A	
			実績					完		
イ. 改革提案の募集、集約、調整、推進			目標						A	
			実績					完		
事業費・事務従事時間の実績			H28年度 (実績)	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	H31年度 (実績)	R2年度 (実績)	R3年度	R4年度	累計 (H30~R4)
①全体事業費(千円)	歳入	実績額	0	0	0	0	0	0	0	0
	歳出	実績額	0	0	0	0	0	0	0	0
②職員事務従事時間		実績時間	0	0	40	100	75	70	40	325
改革による効果	金額的效果 (実績)									0
		計	0							0
	時間的效果 (実績)									0
		計	0							0
		時間								0
		金額換算								0
		時間	0	0	0	0	0	0	0	0
		金額換算	0	0	0	0	0	0	0	0

第4次小城市行政改革プランの各取り組み

[各プランの実施状況の見方]

- 取り組み項目・実施スケジュール …… 目標：取り組む予定の項目を黄で塗りつぶし
 実績：取り組んだ項目(目標値の入力のない項目も含む)を赤で塗りつぶし
 ※年度の四半期ごとに枠を設定し、特に時期を特定して実施した場合は該当時期のみ塗りつぶし
- 進捗度 …………… 完了を「A」、進行中を「B」、未着手を「C」(※空欄…取組目標時期未到来)
- 事業費・事務従事時間の実績 …… 改革プランに要した事業費及び事務従事時間
- 改革による効果 …………… 改革プランに取り組んだ結果得られた効果[金額的效果、時間的效果(人件費2,500円/hで算出)]

3 健全な財政運営の推進

プラン名	9	補助金の見直し	主管課	財政課	関係課	関係各課				
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 市が交付する補助金の見直し 補助金申請等書類の見直し 		見込まれる効果	<ul style="list-style-type: none"> 補助事業の目的・効果等を精査し選択と集中を図る 補助金に頼る体質からの自立をすることによる地域等の活性化につながる 						
取り組み内容 (実績)	平成30年度	決算時に(補助金の)決算状況の確認や関係課からの資料提出による補助の種類洗い出しを実施した。								
	令和元年度	中期財政計画ヒアリング及び予算査定時に関係課間取りを行い、見直しの可能性の確認を行った。補助金関連事業の行政評価結果を基に課内で内部検討を行った。								
	令和2年度	中期財政計画ヒアリング及び予算査定時に、関係課の今後の検討の方向性を再確認した。行革プラン検討会・意見交換会を開催し、補助金毎の裁量度・関係法令を確認し、関係課間の情報交換を行った。								
	令和3年度	各課にて各補助金の今後の方向性を検討し集約した。行革プラン検討会時に問題点の検討を行ったほか、中期財政計画ヒアリング及び予算査定時に、関係課の今後の検討の方向性を再確認し可能な補助金から令和4年度の補助金額の変更を行った。								
	令和4年度	<p style="color: red;">中期財政計画ヒアリング時に各課の検討状況の確認を行った後、他市事例を収集し、今後の見直し方針について、検討会にて検討を行い、改善可能な部分については一部改善を行った。</p> <p style="color: red;">検討内容をもとに小城市補助金適正化ガイドライン(案)を作成し、部長会議にて方針の確認を行った。</p>								
実施スケジュール			年度							
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	進捗度		
ア. 補助事業の決算状況の確認、補助金申請書等書類の見直し	目標	[Yellow]							B	
	実績	[Red]								
イ. 行政評価による評価、課題や問題点の洗い出し	目標	[Yellow]							A	
	実績	[Red]							完	
ウ. ア、イの情報を整理後に補助内容等の精査	目標	[Yellow]							A	
	実績	[Red]							完	
エ. 補助団体への周知・説明、補助金の見直し	目標	[Yellow]							B	
	実績	[Red]								
事業費・事務従事時間の実績		H28年度 (実績)	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	H31年度 (実績)	R2年度 (実績)	R3年度	R4年度	累計 (H30~R4)	
①全体事業費(千円)	歳入	実績額	0	0	0	0	0	0	0	
	歳出	実績額	0	0	0	0	0	0	0	
②職員事務従事時間		実績時間	0	0	200	230	78	109	258	875
改革による効果	金額的效果 (実績)	計		0	0	0	0	0	0	
		時間	0							
	時間的效果 (実績)	計		0	0	0	0	0	0	
		金額換算	0							

第4次小城市行政改革プランの各取り組み

[各プランの実施状況の見方]

- 取り組み項目・実施スケジュール …… 目標：取り組む予定の項目を黄で塗りつぶし
 実績：取り組んだ項目(目標値の入力のない項目も含む)を赤で塗りつぶし
 ※年度の四半期ごとに枠を設定し、特に時期を特定して実施した場合は該当期のみ塗りつぶし
- 進捗度 …………… 完了を「A」、進行中を「B」、未着手を「C」(※空欄…取組目標時期未到来)
- 事業費・事務従事時間の実績 …… 改革プランに要した事業費及び事務従事時間
- 改革による効果 …………… 改革プランに取り組んだ結果得られた効果[金額的效果、時間的效果(人件費2,500円/hで算出)]

3 健全な財政運営の推進(続き)

プラン名	10	自主財源の確保	主管課	財政課	関係課	関係各課				
実施内容	・貸付け、売却、広告等の対象拡大の検討		見込まれる効果	今後、人口減少や高齢化等による自主財源(主に市税)の減や社会保障経費の増加が見込まれる中、また既存施設の更新を控える中、健全な財政運営の推進につながる						
取り組み内容(実績)	平成30年度	本格的な取り組みはできていないが、歳入が見込める関係課について現状の聞き取りを実施した。(中期財政計画ヒアリング時)								
	令和元年度	歳入が見込める関係課について、現状の聞き取りを実施した。また、関係課と協議を行い、基金運用の改善案について検討を行った。								
	令和2年度	行革プラン検討会・意見交換会を開催し、既存財源の確認や活用法だけでなく、新規の資金調達の方法を含めて検討を行った。基金運用に関する研修会を行った。								
	令和3年度	新規の普通財産貸付に関して県の募集に応募し、市有地のストックヤードとしての貸し付けに繋げた。民間の希望により、不動産売り払い収入を得ることが出来た。当初予算査定時に自主財源として歳入が見込める関係課に対して、検討の方向性を確認した。								
	令和4年度	普通財産の未利用地について各課の利用動向を確認し、売却の手続きを行った。 新たな財源の事例収集において洗い出された有料広告事例について、小城市の各課の現状について確認を行い、次年度以降の有料広告募集等の活動につなげた。								
実施スケジュール			年度							
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	進捗度		
ア. 既存の歳入源の確認			目標						A	
			実績					完		
イ. 新たな財源の確保の洗い出し			目標						A	
			実績					完		
事業費・事務従事時間の実績			H28年度(実績)	H29年度(実績)	H30年度(実績)	H31年度(実績)	R2年度(実績)	R3年度	R4年度	累計(H30~R4)
①全体事業費(千円)	歳入	実績額	0	0	0	0	0	0	0	0
	歳出	実績額	0	0	0	0	0	0	0	0
②職員事務従事時間		実績時間	0	0	20	20	42	39	60	181
改革による効果	金額的效果(実績)			0						
		計		0						
	時間的效果(実績)			0						
		計		0						

第4次小城市行政改革プランの各取り組み

[各プランの実施状況の見方]

- 取り組み項目・実施スケジュール …… 目標：取り組む予定の項目を黄で塗りつぶし
実績：取り組んだ項目(目標値の入力のない項目も含む)を赤で塗りつぶし
※年度の四半期ごとに枠を設定し、特に時期を特定して実施した場合は該当時期のみ塗りつぶし
- 進捗度 …… 完了を「A」、進行中を「B」、未着手を「C」(※空欄…取組目標時期未到来)
- 事業費・事務従事時間の実績 …… 改革プランに要した事業費及び事務従事時間
- 改革による効果 …… 改革プランに取り組んだ結果得られた効果[金額的效果、時間的效果(人件費2,500円/hで算出)]

3 健全な財政運営の推進(続き)

プラン名	11	ふるさと納税の推進	主管課	総合戦略課	関係課					
実施内容	ふるさと納税の推進(企業版ふるさと納税・クラウドファンディング)		見込まれる効果	ふるさと納税を推進し、自主財源の確保を図る。小城市以外在住の寄附をしていただいた方へ、お礼として小城市の特産品を送ることにより、地元業者の売上向上に伴う地域活性化につなげる。						
取り組み内容(実績)	平成30年度	自治体間の競争が激化している中で広告等を強化して取り組み、前年を上回る寄附をいただき、市の知名度向上の推進につながったと考える。しかし、返礼品を3割以下にする等の制度改革により、目標額に届かなかった。								
	令和元年度	過度な返礼品競争等を規制するため、ふるさと納税制度が大きく変更され、返礼品だけでなく、広告の在り方や募集に係る費用割合にも厳しい制限がかかった。ポータルサイトの拡充や新規返礼品事業者の掘り起こし等を行ったが、前年と比較し大幅な寄附額減となった。								
	令和2年度	自治体間の競争が更に激化している上、ふるさと納税制度の変更により人気返礼品が県内で平準化され、差別化ができなくなったが、広告の在り方等を工夫して取り組むことで、最終的に前年を上回る寄附をいただくことができた。また、企業版ふるさと納税に係る地域再生計画が認定され、企業版ふるさと納税を受け入れる体制を整えた。								
	令和3年度	新規返礼品開発(返礼品数約1.5倍)やお礼状の送付など例年以上に寄附獲得へ注力したが、自治体間の激しい競争により、年末に寄附が伸び悩み昨年度の実績を下回る結果となった。一方で企業版ふるさと納税において本格的な取り組みを開始した。								
	令和4年度	新規返礼品開発(返礼品数約2倍)やお礼状の送付、ルクア大阪への出店など寄附獲得へ注力したが、自治体間の激しい競争によって寄附が伸び悩み、昨年度の実績を下回る結果となった。ふるさと納税の専門事業者に委託する自治体が増え、サイトの作り込みや返礼品の見せ方などの面でマンパワーやノウハウの差が出てきている。クラウドファンディングと企業版ふるさと納税について検討を行い、より有効な手法と判断し、企業版ふるさと納税を推進した。企業版ふるさと納税の寄附額は前年より減少したが、寄附を受納した企業と新たな官民連携の取り組みを開始するなど、企業版ふるさと納税ならではの動きが出た。								
実施スケジュール			年度							
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	進捗度		
ア. 自主財源確保の推進	目標									
	実績								完	
イ. 市の知名度向上の推進	目標									
	実績								完	
ウ. クラウドファンディングの推進	目標									
	実績								完	
エ. 企業版ふるさと納税の推進	目標									
	実績								完	
事業費・事務従事時間の実績		H28年度(実績)	H29年度(実績)	H30年度(実績)	H31年度(実績)	R2年度(実績)	R3年度	R4年度	累計(H30~R4)	
①全体事業費(千円)	歳入	実績額	1,579,797	1,829,749	1,861,841	1,368,135	1,373,045	1,277,552	1,200,445	7,081,018
	歳出	実績額	914,358	1,187,717	1,088,722	750,846	736,663	686,838	652,499	3,915,568
②職員事務従事時間		実績時間	2,500	2,500	2,500	1,335	2,300	2,210	2,230	10,575
改革による効果	金額的效果(実績)	ふるさと納税寄附額			773,119	617,289	636,382	590,714	547,946	3,165,450
		計			773,119	617,289	636,382	590,714	547,946	3,165,450
	時間的效果(実績)	時間								0
		金額換算								0
		時間			0	0	0	0	0	0
		金額換算			0	0	0	0	0	0
合計効果額				773,119	617,289	636,382	590,714	547,946	3,165,450	

第4次小城市行政改革プランの各取り組み

[各プランの実施状況の見方]

- 取り組み項目・実施スケジュール …… 目標：取り組む予定の項目を黄で塗りつぶし
実績：取り組んだ項目(目標値の入力のない項目も含む)を赤で塗りつぶし
※年度の四半期ごとに枠を設定し、特に時期を特定して実施した場合は該当時期のみ塗りつぶし
- 進捗度 …… 完了を「A」、進行中を「B」、未着手を「C」(※空欄…取組目標時期未到来)
- 事業費・事務従事時間の実績 …… 改革プランに要した事業費及び事務従事時間
- 改革による効果 …… 改革プランに取り組んだ結果得られた効果[金額的效果、時間的效果(人件費2,500円/hで算出)]

3 健全な財政運営の推進(続き)

プラン名	12	収納率の向上・滞納整理の強化	主管課	税務課	関係課	関係各課				
実施内容	市税等の収納率の向上と滞納整理の強化		見込まれる効果	市民の納税意識の高揚を図るとともに、健全な財政運営を推進するため、市税等の滞納整理を充実・強化する。						
取り組み内容(実績)	平成30年度	月2回の夜間納税相談窓口を継続的に行なうとともに、課の封筒に納期一覧・口座振替・コンビニ推奨の印刷を行ない期限内納付の周知を図った。また、市より支払う報酬・報償費等、各課の情報提供(協力)により、滞納整理・滞納処分実施が強化された。更に、徴収事務研修会(公課及び滞納処分の例によって徴収することができる事務担当者を対象)を1回実施した。								
	令和元年度	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度に続き、月2回の夜間納税相談窓口を継続的に行なった。 ・市報では納期限や、「国民健康保険制度について」のお知らせを連載(全10回のうち、国民健康保険税に関する内容5回)し、周知を図った。 ・徴収事務研修会を各回2時間で計10回実施し、研修を受けた国保年金課は滞納処分を執行した。また、固定資産税の適正な課税に向け、所有者が特定できない空き家について、定住推進課と連携し相続財産管理人制度を活用し、その解消を図っている。 ・収納率向上を目的とした、新たな納付方法(スマートフォン決済)を検討するため、情報収集を行った。 								
	令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> ・月2回の夜間納税相談を継続実施するとともに、市報で納期限の通知や口座振替の勧奨を行った。 ・庁内担当者向け徴収事務研修会(計10回)を開催すると共に、公課担当課にアンケートを実施し、滞納整理の現状把握と情報共有を行った。また、昨年度に続き所有者が特定できない空き家について、その解消のため定住推進課と連携を図っているが、相続財産管理人制度の活用案件はなかった。 ・令和2年度から口座振替不能通知を廃止し、事務の効率化と費用削減を図った。 ・新たな納付方法として、令和3年度からスマートフォンアプリを利用して納付できる環境を整備した。 								
	令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> ・月2回の夜間納税相談を継続実施するとともに、市報で納期限の通知や口座振替の勧奨を行った。 ・庁内担当者向け徴収事務研修会(計10回)を開催した。研修会に参加した国保年金課では、後期高齢者医療保険料の滞納処分を行った。 ・スマートフォンアプリを利用した納税について、市報、ホームページ、封筒への刷り込み、各種通知等で幅広く案内し、約5,000件(約93,000千円)が納付された。税の納付手段として、これまでの金融機関等での納付及び口座振替、コンビニストアでの納付に加え、スマートフォン決済の導入により、市民が納税しやすい環境づくりが整った。令和4年度以降も同様の納付手段を継続していく。 ・滞納整理マニュアルの作成については、税務課(租税)と他課(公課)で扱う債権の管理方法が異なることから、共通したマニュアルの作成が難しいため、市独自のマニュアルは作成せず、「滞納整理事務の手引き(東京税務協会発行)」を滞納整理の基礎的なマニュアルとして位置づけた。徴収事務研修会でも当該マニュアルを活用しながら関係各課で滞納整理の手法を学び、情報の共有を図った。 ・平成21年度から継続して佐賀県税事務所へ職員を派遣。継続的な徴収職員の人材育成を図りながら、滞納額の縮減に努めてきた。滞納繰越徴収率については、平成29年度からは5年連続して県内10市中、1位という成績を残し、滞納整理の強化が図れている。今後は、日々変化する社会情勢の中で、常に最新の情報や知識の習得に努め、徴収率の維持向上に努めていく。 								
	令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> ・計画期間をとおして夜間納税相談を継続して実施したことで、夜間窓口が定着し、納税義務者・滞納者の都合に合わせた相談の機会を増やすことができた。 ・庁内担当者向け徴収事務研修会(計10回)を継続して開催した。研修会では困難事案を持ち寄り、知識と情報を共有し、解決策の検討に取り組むことができた。 ・令和5年度から、固定資産税、軽自動車税において地方税統一QRコード(eL-QR)を活用した納税通知書の運用を開始することとした。このことにより、口座振替やコンビニ収納、スマートフォン決済(PayPay等)に加え、クレジットカード納付や指定金融機関以外での納付等を行うことができるようになり、納付方法の拡充・充実につなげることができるようになった。地方税統一QRコードの活用は、今後も検討を重ね、対象税目の拡大を図っていくこととした。 ・納付等に関する広報については、市報、ホームページ、封筒への刷り込みを引き続き活用し、発信方法を定着することができた。 								
実施スケジュール										
			年度				進捗度			
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度			
ア. 夜間納税相談窓口(第2、第4木曜日)の継続実施	目標								A	
	実績							完		
イ. 口座振替やコンビニ収納の推奨と広報の充実(期限内納付の周知・徹底)	目標								A	
	実績							完		
ウ. 滞納整理マニュアルの作成と関係課による情報共有	目標								A	
	実績							完		
エ. 新たな収納率の向上・滞納整理の強化の検討	目標								A	
	実績							完		
事業費・事務従事時間の実績		H28年度(実績)	H29年度(実績)	H30年度(実績)	H31年度(実績)	R2年度(実績)	R3年度	R4年度	累計(H30~R4)	
①全体事業費(千円)	歳入	実績額	5,284,704	5,295,678	5,310,064	5,393,527	5,391,268	5,395,607	5,530,090	27,020,556
	歳出	実績額	7,938	6,500	6,826	7,370	6,891	7,281	6,866	35,234
②職員事務従事時間		実績時間	0	0	334	350	333	333	333	1,683
改革による効果	金額的效果(実績)	徴収率向上による前年度との比較			35,202	22,796	982	23,336	2,481	84,797
		【参考】徴収率(個人市民税、固定資産税、軽自動車税、国民健康保険税の合計)			95.21%	95.69%	95.71%	96.19%	96.24%	0
		市税等の滞納整理による取立額			29,757	26,142	19,512	15,353	16,094	106,858
		口座振替不能通知の廃止			0	0	130	130	130	390
		他課による滞納処分			0	150	127	357	0	634
	計			64,959	49,088	20,751	39,176	18,705	192,679	
時間的效果(実績)	時間	時間							0	
		金額換算							0	
		計			0	0	0	0	0	
合計効果額				64,959	49,088	20,751	39,176	18,705	192,679	

第4次小城市行政改革プランの各取り組み

[各プランの実施状況の見方]

- 取り組み項目・実施スケジュール …… 目標：取り組む予定の項目を黄で塗りつぶし
 実績：取り組んだ項目(目標値の入力のない項目も含む)を赤で塗りつぶし
 ※年度の四半期ごとに枠を設定し、特に時期を特定して実施した場合は該当時期のみ塗りつぶし
- 進捗度 …………… 完了を「A」、進行中を「B」、未着手を「C」(※空欄…取組目標時期未到来)
- 事業費・事務従事時間の実績 …… 改革プランに要した事業費及び事務従事時間
- 改革による効果 …………… 改革プランに取り組んだ結果得られた効果[金額的效果、時間的效果(人件費2,500円/hで算出)]

3 健全な財政運営の推進(続き)

プラン名	13	受益者負担の見直し	主管課	財政課	関係課	関係各課				
実施内容	分担金・負担金・手数料・使用料等の受益者負担の見直し		見込まれる効果	今後、人口減少や高齢化等による自主財源(主に市税)の減や社会保障経費の増加が見込まれ、また既存施設の更新を控える中、健全な財政運営の推進につながる						
取り組み内容 (実績)	平成30年度	本格的な取り組みはできていないが、関係課について現状の聞き取りを実施した。(中期財政計画ヒアリング時)								
	令和元年度	中期財政計画ヒアリング及び予算査定時に関係課へ聞き取りを実施した。								
	令和2年度	負担金・分担金の関係課より負担率、負担額、法的根拠、現状と課題の状況の情報収集を行った。行革プラン検討会・意見交換会を開催し、改善のための問題点をその中で話し合った。								
	令和3年度	行革プラン検討会・意見交換会を開催し、各負担金の問題点の課題共有を行った。また、具体的な負担金見直しの庁内予定に合わせ、他の負担についても見直しの方向性を確認した。								
	令和4年度	中期財政計画ヒアリング及び予算査定時に各課の状況を確認した。また、裁量のある負担金については情報収集と個別ヒアリングを実施し、具体的な改善スケジュールについて各課にて方針を確認した。 下水道使用料については、R5年度からの使用料改定に向け検討を行い、条例改正を行った。								
実施スケジュール			年度							
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	進捗度		
ア. 受益者負担の状況確認			目標						A	
			実績				完			
イ. 行政評価による評価、課題や問題点の洗い出し			目標						A	
			実績				完			
事業費・事務従事時間の実績			H28年度 (実績)	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	H31年度 (実績)	R2年度 (実績)	R3年度	R4年度	累計 (H30~R4)
①全体事業費(千円)	歳入	実績額	0	0	0	0	0	0	0	0
	歳出	実績額	0	0	0	0	0	0	0	0
②職員事務従事時間		実績時間	0	0	20	25	55	53	34	187
改革による効果	金額的效果 (実績)	計								0
		計								0
	時間的效果 (実績)	時間								0
		金額換算								0
		時間	0	0	0	0	0	0	0	
		金額換算	0	0	0	0	0	0	0	

第4次小城市行政改革プランの各取り組み

[各プランの実施状況の見方]

- 取り組み項目・実施スケジュール …… 目標：取り組む予定の項目を黄で塗りつぶし
 実績：取り組んだ項目(目標値の入力のない項目も含む)を赤で塗りつぶし
 ※年度の四半期ごとに枠を設定し、特に時期を特定して実施した場合は該当期のみ塗りつぶし
- 進捗度 …………… 完了を「A」、進行中を「B」、未着手を「C」(※空欄…取組目標時期未到来)
- 事業費・事務従事時間の実績 …… 改革プランに要した事業費及び事務従事時間
- 改革による効果 …………… 改革プランに取り組んだ結果得られた効果[金額的效果、時間的效果(人件費2,500円/hで算出)]

3 健全な財政運営の推進(続き)

プラン名	14	減免制度の見直し		主管課	財政課	関係課	関係各課					
実施内容	減免制度の見直し			見込まれる効果	今後、人口減少や高齢化等による自主財源(主に市税)の減や社会保障経費の増加が見込まれ、また既存施設の更新を控える中、健全な財政運営の推進につながる							
取り組み内容 (実績)	平成30年度	減免制度に関係する条例や要綱の確認を行った。										
	令和元年度	中期財政計画にアライング及び予算査定時に関係課へ聞き取りを実施した。										
	令和2年度	関係課より各施設に係る費用の情報収集を行い、施設ごとの収入と支出の状況を確認した。行革プラン検討会・意見交換会を開催し、改善のための問題点をその中で話し合った。今後、光熱費の減免規定や、旧町からの減免規定について課題が洗い出された。										
	令和3年度	行革プラン検討会・意見交換会を開催し、改善のための問題点をその中で話し合った。また、関係課にて他市事例との減免規定の水準を比較し、今後の改善の方向性を確認した。										
	令和4年度	中期財政計画にアライング時に聞き取りを実施した。 減免制度の過去の変更履歴を確認し、現在の制度との比較を行い、当初予算査定時に方針を確認した。										
実施スケジュール				年度								
				H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	進捗度			
ア. 減免の状況確認				目標								
				実績								完
イ. 行政評価による評価、課題や問題点の洗い出し				目標								
				実績								完
事業費・事務従事時間の実績			H28年度 (実績)	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	H31年度 (実績)	R2年度 (実績)	R3年度	R4年度	累計 (H30~R4)		
①全体事業費(千円)	歳入	実績額	0	0	0	0	0	0	0	0		
	歳出	実績額	0	0	0	0	0	0	0	0		
②職員事務従事時間		実績時間	0	0	10	10	79	77	49	225		
改革による効果	金額的効果 (実績)	計		0	0	0	0	0	0	0		
		時間										
	時間的効果 (実績)	計		0	0	0	0	0	0	0		
		金額換算		0	0	0	0	0	0	0		

第4次小城市行政改革プランの各取り組み

[各プランの実施状況の見方]

- 取り組み項目・実施スケジュール …… 目標：取り組む予定の項目を黄で塗りつぶし
 実績：取り組んだ項目(目標値の入力のない項目も含む)を赤で塗りつぶし
 ※年度の四半期ごとに枠を設定し、特に時期を特定して実施した場合は該当期のみ塗りつぶし
- 進捗度 …………… 完了を「A」、進行中を「B」、未着手を「C」(※空欄…取組目標時期未到来)
- 事業費・事務従事時間の実績 …… 改革プランに要した事業費及び事務従事時間
- 改革による効果 …………… 改革プランに取り組んだ結果得られた効果[金額的效果、時間的效果(人件費2,500円/hで算出)]

3 健全な財政運営の推進(続き)

プラン名	15	収支バランスの適正化		主管課	財政課	関係課						
実施内容	歳入減見込み分の歳出激減緩和			見込まれる効果	今後、人口減少や高齢化等による自主財源(主に市税)の減や社会保障経費の増加が見込まれ、また既存施設の更新を控える中、健全な財政運営の推進につながる							
取り組み内容(実績)	平成30年度	各課からヒアリングを行い、中期財政計画のローリングを実施。次年度当初予算編成にあたり、行政評価会議、事前評価会議及び中期財政計画を考慮した。										
	令和元年度	各課からヒアリングを行い、中期財政計画のローリングを実施。次年度当初予算編成にあたり、行政評価会議、事前評価会議及び中期財政計画を考慮した。基金残高の減少に伴う緊急課長説明会を行い、全事業の削減方針を示すことで総事業費の縮減につなげた。										
	令和2年度	各課からヒアリングを行い、中期財政計画のローリングを実施。次年度当初予算編成にあたり、行政評価会議、事前評価会議及び中期財政計画を考慮した。事業ごとの裁量度、削減余地の確認を行い、部長会や経営戦略会議で説明・協議を重ね、総事業費の縮減につなげた。										
	令和3年度	各課からヒアリングを行い、中期財政計画のローリングを実施。次年度当初予算編成にあたり、行政評価会議、事前評価会議及び中期財政計画を考慮した。事業ごとの裁量度、削減余地の確認を行い、一般財源の削減案を各部検討し総事業費の縮減に繋げた。また、将来的な歳出の調整のため、大型事業の年度間調整も行った。										
	令和4年度	各課からヒアリングを行い、中期財政計画のローリングを実施した。次年度当初予算編成にあたり、事前評価会議での確認及び中期財政計画を検討した。各所管課で事業費削減余地の確認を行い、一般財源の削減案を各部検討し、総事業費の縮減に繋げた。また、将来的な歳出の調整のため、大型事業の年度間調整も行った。										
実施スケジュール				年度								
				H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	進捗度			
ア. 総合計画実施計画との整合を図りながら中期財政計画のローリング作業を行う				目標								A
				実績							完	
イ. 行政評価制度、事前評価会議等に基づく予算配分を行う				目標								A
				実績							完	
ウ. ア、イの情報を整理後、市の全体総量を把握し、基金残高を考慮した予算編成を行う				目標								A
				実績							完	
エ. 基金残高の減少を踏まえた事業の精査				目標								B
				実績								
事業費・事務従事時間の実績			H28年度(実績)	H29年度(実績)	H30年度(実績)	H31年度(実績)	R2年度(実績)	R3年度	R4年度	累計(H30~R4)		
①全体事業費(千円)	歳入	実績額	0	0	0	0	0	0	0	0		
	歳出	実績額	0	0	0	0	0	0	0	0		
②職員事務従事時間		実績時間	0	0	587	500	574	545	465	2,671		
改革による効果	金額的效果(実績)	計			0	0	0	0	0	0		
		計			0	0	0	0	0	0		
	時間的效果(実績)	時間									0	
		金額換算									0	
計		時間			0	0	0	0	0	0		
		金額換算			0	0	0	0	0	0		

第4次小城市行政改革プランの各取り組み

[各プランの実施状況の見方]

- 取り組み項目・実施スケジュール …… 目標：取り組む予定の項目を黄で塗りつぶし
 実績：取り組んだ項目(目標値の入力のない項目も含む)を赤で塗りつぶし
 ※年度の四半期ごとに枠を設定し、特に時期を特定して実施した場合は該当時期のみ塗りつぶし
- 進捗度 …………… 完了を「A」、進行中を「B」、未着手を「C」(※空欄…取組目標時期未到来)
- 事業費・事務従事時間の実績 …… 改革プランに要した事業費及び事務従事時間
- 改革による効果 …………… 改革プランに取り組んだ結果得られた効果[金額的效果、時間的效果(人件費2,500円/hで算出)]

4 業務執行体制の充実

プラン名	16	マイナンバーの活用	主管課	企画政策課	関係課	関係各課					
実施内容	マイナンバーカードの行政サービスにおける利用範囲拡大を検討し、普及を促進する。マイキープラットフォームなども積極的に検討を行う。		見込まれる効果	行政事務の簡素化、市民生活の利便性向上							
取り組み内容 (実績)	平成30年度	マイナンバーカードの活用について、各課から国等の通知など情報収集を行った。また、マイキープラットフォームの利用についての会議に参加し、今後の活用について検討を行った。H31.3.31現在マイナンバーカード交付率9.1%。									
	令和元年度	マイナンバーカードの活用に係る国県の会議等に参加し情報収集を行うとともに、マイナンバーカードを活用した消費活性化策「マイナポイント」を推進するため、R1.10.9付けでマイキープラットフォーム運用協議会に加盟した。また、マイナンバーカード交付円滑化計画及びマイキーID設定支援計画を立て、マイナンバーカードの普及・利用促進について、庁内での調整を行い、住民への支援体制を整えた。R2.3.31現在マイナンバーカード交付率12.2%。									
	令和2年度	マイナンバーカード交付円滑化計画・マイキーID設定支援計画に基づき、会計年度任用職員の配置や休日窓口の開設など、マイナンバーカード申請やマイナポイント申込支援の対応を強化した。マイナポータル新たな活用として、特別定額給付金申請で408件の利用があったほか、健康保険証利用申込の受付を開始した。R2年度マイナンバーカード交付11,016件、R3.3.31現在交付率24.3%、マイナポイント申込支援1,695件。									
	令和3年度	マイナンバーカード交付円滑化計画・マイナポイント申込支援計画(R3.12.22名称改訂)に基づき、会計年度任用職員の配置や毎週木曜日の時間外窓口と休日窓口の開設など、マイナンバーカード申請やマイナポイント申込支援を行った。また、確定申告会場における市民課職員によるマイナンバーカードの出張交付申請受付や市から郵送する給付金や応援券送付文書へのチラシの同封・封筒への広告印刷などマイナンバーカード普及促進に向けた取組を行った。R4.3.31現在マイナンバーカード交付件数18,457件、交付率41.06%、マイナポイント申込支援1,882件。									
	令和4年度	マイナンバーカード交付円滑化計画・マイナポイント申込支援計画に基づき、会計年度任用職員の配置や毎週火曜日・木曜日の時間外窓口と休日窓口の開設など、マイナンバーカード申請受付や交付、マイナポイント申込支援(健康保険証紐づけ、公金受取口座登録)を行った。また、マイナンバーカードの出張申請受付や総務省キャラバンとの共同によるマイナポイント申込支援、マイナンバーカード申請受付を行い、マイナンバーカード普及に努めた。また、マイナポータルを通じたオンラインによる転出届の提出・転入先自治体への来庁予約サービスが開始した。R5.3.31現在マイナンバーカード交付件数 33,074件、交付率74.09%(全国1,741自治体中304位)、R4年度マイナポイント申込支援13,341件。									
実施スケジュール			年度								
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	進捗度			
ア. マイナンバーカード普及のための情報収集、検討			目標						A		
			実績							完	
イ. マイナポータルの利用促進			目標						A		
			実績							完	
ウ. マイキープラットフォーム(自治体ポイント)の検討			目標						A		
			実績							完	
事業費・事務従事時間の実績			H28年度 (実績)	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	H31年度 (実績)	R2年度 (実績)	R3年度	R4年度	累計 (H30~R4)	
①全体事業費(千円)	歳入	実績額	0	0	0	0	356	1,559	4,007	5,922	
	歳出	実績額	0	0	4	4	356	1,559	4,008	5,931	
②職員事務従事時間		実績時間	0	0	40	80	480	540	2,678	3,818	
改革による効果	金額的効果 (実績)	計			0	0	0	0	0	0	
	時間的効果 (実績)	時間									0
		金額換算									0
計		時間			0	0	0	0	0	0	
		金額換算			0	0	0	0	0	0	

第4次小城市行政改革プランの各取り組み

[各プランの実施状況の見方]

- 取り組み項目・実施スケジュール …… 目標：取り組む予定の項目を黄で塗りつぶし
 実績：取り組んだ項目(目標値の入力のない項目も含む)を赤で塗りつぶし
 ※年度の四半期ごとに枠を設定し、特に時期を特定して実施した場合は該当時期のみ塗りつぶし
- 進捗度 …………… 完了を「A」、進行中を「B」、未着手を「C」(※空欄…取組目標時期未到来)
- 事業費・事務従事時間の実績 …… 改革プランに要した事業費及び事務従事時間
- 改革による効果 …………… 改革プランに取り組んだ結果得られた効果[金額的效果、時間的效果(人件費2,500円/hで算出)]

4 業務執行体制の充実(続き)

プラン名	17	公共施設等の総合管理	主管課	財政課	関係課	関係各課				
実施内容	公共施設増減の把握と総量削減目標に向けた公共施設等総合管理計画の進捗管理及び個別施設計画の策定		見込まれる効果	公共施設等の全体を把握し、長期的な視点を持って、更新・統廃合・長寿命化などを計画的に行うことにより、財政負担を軽減平準化するとともに、公共施設等の最適な配置を実現することができる。						
取り組み内容(実績)	平成30年度	大分類施設の文化施設、社会教育施設等、計11施設の個別施設計画を策定するため、対象となる課に対しヒアリングを実施した。(個別施設計画策定数3/11)(H30金額的效果実績額:H29年度末に民営化した岩松保育園施設管理分)								
	令和元年度	個別施設計画を策定するため、対象となる課に対しヒアリングと進捗状況確認を行った。また、大分類施設の1施設において個別施設計画の策定となった。(個別施設計画策定数4/11)								
	令和2年度	個別施設計画を策定するため、対象となる課に対しヒアリングと進捗状況確認を行った。また、大分類施設の5施設において個別施設計画の策定となった。(個別施設計画策定数9/11)三里保育園は令和3年度より民営化された。								
	令和3年度	個別施設計画を策定するため、対象となる課に対し進捗状況確認を行った。大分類施設の2施設について調整を行い、1施設について個別施設計画の策定を行った(個別施設計画策定数10/11)。また、計画作成や進捗管理を行うための公共施設マネジメントシステムを導入した。								
	令和4年度	制度改変に伴い総務省派遣のアドバイザーの助言を受けながら公共施設等総合管理計画の見直し作業を行った。公共施設マネジメントシステムを活用し、今後の見通しのシミュレーションをしながら、部長会議にて見直し方針の検討を行い、次年度の改訂につなげた。また、各公共施設について個別ヒアリングを行い、現状再確認と将来の見通しのヒアリングを行った。(～R3年度末約0.8%の面積減)								
実施スケジュール			年度							
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	進捗度		
ア. 公共施設増減の把握	目標									
	実績							完	A	
イ. 公共施設等総合管理計画の進捗管理	目標									
	実績							完	A	
ウ. 個別施設計画の策定	目標									
	実績							完	A	
事業費・事務従事時間の実績		H28年度(実績)	H29年度(実績)	H30年度(実績)	H31年度(実績)	R2年度(実績)	R3年度	R4年度	累計(H30～R4)	
①全体事業費(千円)	歳入	実績額	0	0	0	0	0	0	0	
	歳出	実績額	0	0	0	0	0	0	0	
②職員事務従事時間		実績時間	300	150	192	158	172	100	153	775
改革による効果	金額的效果(実績)	保育園の民営化			3,324			2,723	6,047	
		計			3,324	0	0	2,723	0	6,047
	時間的效果(実績)	時間							0	
		金額換算							0	
		計			0	0	0	0	0	0
	合計効果額				3,324	0	0	2,723	0	6,047

第4次小城市行政改革プランの各取り組み

[各プランの実施状況の見方]

- 取り組み項目・実施スケジュール …… 目標：取り組む予定の項目を黄で塗りつぶし
 実績：取り組んだ項目(目標値の入力のない項目も含む)を赤で塗りつぶし
 ※年度の四半期ごとに枠を設定し、特に時期を特定して実施した場合は該当時期のみ塗りつぶし
- 進捗度 …………… 完了を「A」、進行中を「B」、未着手を「C」(※空欄…取組目標時期未到来)
- 事業費・事務従事時間の実績 …… 改革プランに要した事業費及び事務従事時間
- 改革による効果 …………… 改革プランに取り組んだ結果得られた効果[金額的效果、時間的效果(人件費2,500円/hで算出)]

4 業務執行体制の充実(続き)

プラン名	18	公立病院統合検討	主管課	総合戦略課	関係課	市民病院事務局					
実施内容	小城市民病院と多久市立病院との統合検討(医療機能の充実、経営の合理化・安定化)		見込まれる効果	医療機能の充実、経営の合理化・安定化、将来にわたり効率的かつ質の高い医療供給体制							
取り組み内容(実績)	平成30年度	新病院設立候補地の選定に係るコンサルティング委託については完了。統合検討については継続して取り組み中。目標としていた統合病院候補地選定及び統合の合意までは至っていない。									
	令和元年度	統合病院の建設候補地が選定され、両市で小城市民病院と多久市立病院を統合した新たな公立病院の設置についての覚書を交わし、統合することを決定した。統合の必要性や経緯について各校区で市民への説明会を開催した。									
	令和2年度										
	令和3年度										
	令和4年度										
実施スケジュール			年度								
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	進捗度			
ア. 新病院設立候補地の選定に係るコンサルティング委託			目標							A	
			実績			完					
イ. 小城市民病院と多久市立病院との統合検討			目標							A	
			実績				完				
事業費・事務従事時間の実績			H28年度(実績)	H29年度(実績)	H30年度(実績)	H31年度(実績)	R2年度(実績)	R3年度	R4年度	累計(H30~R4)	
①全体事業費(千円)	歳入	実績額	0	0	0	0	0	0	0	0	
	歳出	実績額	0	0	8,514	0	0	0	0	8,514	
②職員事務従事時間		実績時間	0	0	500	700	0	0	0	1,200	
改革による効果	金額的效果(実績)			0	0	0	0	0	0	0	
		計		0	0	0	0	0	0	0	
	時間的效果(実績)	時間									0
		金額換算									0
		計			0	0	0	0	0	0	0
金額換算				0	0	0	0	0	0	0	
合計効果額			0	0	0	0	0	0	0	0	

第4次小城市行政改革プランの各取り組み

[各プランの実施状況の見方]

- 取り組み項目・実施スケジュール …… 目標：取り組む予定の項目を黄で塗りつぶし
 実績：取り組んだ項目(目標値の入力のない項目も含む)を赤で塗りつぶし
 ※年度の四半期ごとに枠を設定し、特に時期を特定して実施した場合は該当時期のみ塗りつぶし
- 進捗度 …………… 完了を「A」、進行中を「B」、未着手を「C」(※空欄…取組目標時期未到来)
- 事業費・事務従事時間の実績 …… 改革プランに要した事業費及び事務従事時間
- 改革による効果 …………… 改革プランに取り組んだ結果得られた効果[金額的效果、時間的效果(人件費2,500円/hで算出)]

4 業務執行体制の充実(続き)

プラン名	19	窓口サービスの見直し	主管課	企画政策課	関係課	関係各課				
実施内容	窓口サービスの課題を洗い出し、関係各課で協議し、より市民が利用しやすい窓口サービスの検討を行う。また、現在3か所ある出張所について、今後の方向性を検討する。		見込まれる効果	市民に対する窓口の利便性の向上						
取り組み内容 (実績)	平成30年度	職員向けの窓口改革改善研修を実施した。窓口サービスのあり方について参考となるセミナーに参加し、先進地事例について研究した。また実際に参考となる自治体に視察を行った。								
	令和元年度	他自治体の窓口業務の民間委託導入について情報収集を行った。また、窓口部署職員を対象に窓口対応・体制の現状と課題についてアンケートを実施した。出張所の職員体制について、会計年度任用職員の活用の検討を行った。								
	令和2年度	窓口部署を対象に、窓口対応をしている担当者に課ごとに現状や課題の聞き取りを行った。その後管理職にも課ごとに聞き取りを行い、課題の共有を図った。聞き取りの際に、出張所での取り扱い業務の内容や件数などについても確認を行った。出張所では、一部で会計年度任用職員を配置し、経費の削減を図った。								
	令和3年度	窓口関係部署の係長以上職員による窓口サービスの見直し庁内検討会議を開催し、窓口サービスの現状と課題の共有を行った。佐賀市をはじめ他市の事例の収集や各窓口(出張所含む)での取り扱い業務や申請件数、証明書発行件数等の分析を行い、窓口サービスの現状と課題について整理を行った。また、全庁的に窓口改革の動向研修を行い、DX推進の取り組みや出張所の見直し事例について理解を深めた。								
	令和4年度	窓口関係部署の係長以上職員による窓口サービスの見直し庁内検討会議及び庁内検討課長会議を開催し、窓口サービスの現状と課題の共有を行った。また、書かない窓口やリモート窓口等、窓口サービスについての事例収集を行うとともに、窓口サービス改善の参考とするため、武雄市の市民課窓口視察を行った。窓口サービスの現状及び課題に関する報告書(素案)及び今年度の庁内検討会議を踏まえ、令和7年度の標準化・共通化スケジュールを考慮した窓口サービス改善のロードマップ(案)を作成した。								
実施スケジュール			年度							
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	進捗度		
ア. 窓口サービスについての課題抽出、情報収集	目標							A		
	実績							完		
イ. 窓口サービスの在り方検討	目標							A		
	実績							完		
ウ. 出張所の在り方検討	目標							A		
	実績							完		
事業費・事務従事時間の実績		H28年度 (実績)	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	H31年度 (実績)	R2年度 (実績)	R3年度	R4年度	累計 (H30~R4)	
①全体事業費(千円)	歳入	実績額	0	0	0	0	0	0	0	
	歳出	実績額	0	0	28	0	0	99	99	226
②職員事務従事時間		実績時間	0	0	48	20	135	203	294	700
改革による効果	金額的效果 (実績)								0	
		計		0	0	0	0	0	0	
	時間的效果 (実績)								0	
		計		0	0	0	0	0	0	
									0	